



平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トレジャー・ファクトリー

コード番号 3093 URL <http://www.treasurefactory.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野坂 英吾

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 野坂 淳

TEL 03-3880-8822

四半期報告書提出予定日 平成23年1月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	4,638	20.5	283	△5.6	286	△4.3	157	7.4
22年2月期第3四半期	3,850	25.3	300	96.2	299	95.4	147	74.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	60.89	59.70
22年2月期第3四半期	12,249.95	11,902.10

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	2,619	1,390	53.1	510.73
22年2月期	2,326	1,013	43.6	83,480.24

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 1,390百万円 22年2月期 1,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
23年2月期	—	0.00	—		
23年2月期 (予想)				10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,481	23.9	377	5.2	376	5.2	177	0.6	67.42

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2 その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期3Q 2,721,800株 22年2月期 12,140株

② 期末自己株式数 23年2月期3Q 一株 22年2月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期3Q 2,593,799株 22年2月期3Q 12,010株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は本資料の発表現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては【添付資料】P.3「(3)業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

2. 平成22年3月1日付で普通株式1株につき200株の割合をもって株式の分割を行っております。

3. 平成22年6月に公募による新株発行により発行済株式総数が270,000株増加し、また平成22年7月に第三者割当による新株発行により発行済株式総数が23,800株増加しております。「平成23年2月期の通期業績」の1株当たり予想当期純利益の算出につきましては、当該増加分を含めて計算した予想期中平均株式数の2,625,361株によっております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(第3四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 仕入実績	10
(2) 販売実績	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、円高やデフレ進行により、景気は踊り場局面にあり、雇用・所得環境も本格的な回復には至らず、消費マインドも依然萎縮した状況が続いております。

一方で、節約志向やエコ意識を背景にした消費者へのリユース意識の浸透により、リユース市場は依然拡大しております。清潔感のある店内に品質の良いリユース品を多数陳列し、一品モノとの出会いを提供することにより、これまでリユースショップを利用したことがなかった消費者の店舗利用も増えております。

このような経営環境のもと、当社は、出店計画に沿って直営店の新規出店を進めるとともに、Web広告やWebを活用した情報発信の強化、ポイントサービス「トレポ」を使った販促展開などに取り組み、店舗の買取増加及び販売力強化を図ってまいりました。

売上高は全社では前年同期比20.5%増、既存店でも前年同期比0.5%増となりました。商品カテゴリー別では、衣料・服飾雑貨が前年同期比38.8%増と大きく伸びました。

出店政策においては、総合リユース業態の「トレジャーファクトリー」(直営)を4店、服飾専門リユース業態の「トレジャーファクトリースタイル」を4店出店し、平成22年11月末現在では、直営店が「トレジャーファクトリー」39店、「トレジャーファクトリースタイル」9店の計48店、FC店が「トレジャーファクトリー」3店となり、合計店舗数51店体制となりました。

利益面では、全社の売上総利益率が64.9%と前年同期に比べ0.8%低下し、既存店の売上総利益率も65.4%と前年同期に比べ1.0%低下しました。売上総利益率は、衣料服飾雑貨などの値下げにより第2四半期会計期間に大きく悪化が見られましたが、当第3四半期会計期間では回復傾向が見られました。販売費及び一般管理費は、新規出店が前倒しになったことによる出店費用増加などにより、販売費及び一般管理費比率は前年同期に比べ0.8%上昇し、58.7%となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高4,638,550千円(前年同期比20.5%増)、営業利益283,437千円(前年同期比5.6%減)、経常利益286,346千円(前年同期比4.3%減)、四半期純利益157,944千円(前年同期比7.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における資産合計は、商品が113,460千円増加したこと及び、敷金及び保証金が72,732千円増加したこと等により、前事業年度末と比較して293,207千円増加し、2,619,652千円となりました。

当第3四半期会計期間末における負債合計は、未払法人税等が88,958千円減少したこと等により、前事業年度末と比較して83,444千円減少し、1,229,550千円となりました。

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、新株式の発行による資本金の増加121,493千円、資本準備金の増加121,493千円及び、四半期純利益により利益剰余金が157,944千円増加したこと等により、前事業年度末と比較して376,652千円増加し、1,390,102千円となりました。

(キャッシュ・フローの分析)

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ29,095千円減少し、433,802千円となりました。

また当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは6,982千円の収入(前年同四半期は132,971千円の収入)となりました。これは主に税引前四半期純利益286,346千円、減価償却費87,473千円があった一方で、法人税等の支払額191,410千円、たな卸資産の増加額116,121千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは294,984千円の支出(前年同四半期は207,380千円の支出)となりました。これは主に店舗新設に伴う有形固定資産の取得による支出162,916千円、敷金及び保証金の差入による支出78,079千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは258,906千円の収入(前年同四半期は181,046千円の収入)となりました。これは主に株式発行による収入242,106千円、短期借入金の純増額106,000千円があった一方で、長期借入金の返済による支出163,741千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期第3四半期累計期間は、既存店の営業強化への取組みを進めながら、新規に8店舗の出店を行い、出店エリアの拡大を進めてまいりました。平成23年2月期第4四半期においては、平成23年1月に南浦和店（埼玉県さいたま市）、2月に市川店（千葉県市川市）の新規出店を予定しております。

なお、通期の業績予想につきましては、平成22年4月14日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

当第3四半期会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	447,208	476,304
売掛金	64,861	35,805
商品	750,485	637,025
その他	142,779	141,464
貸倒引当金	△668	△367
流動資産合計	1,404,667	1,290,232
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	389,991	345,548
土地	141,555	141,555
その他(純額)	148,298	124,725
有形固定資産合計	679,844	611,828
無形固定資産		
	19,552	3,449
投資その他の資産		
敷金及び保証金	434,472	361,740
その他	81,114	61,859
貸倒引当金	—	△2,666
投資その他の資産合計	515,587	420,933
固定資産合計	1,214,984	1,036,211
資産合計	2,619,652	2,326,444
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,874	14,504
短期借入金	323,000	217,000
1年内返済予定の長期借入金	184,021	205,254
未払法人税等	32,317	121,275
賞与引当金	38,540	72,884
その他	326,762	325,283
流動負債合計	916,515	956,201
固定負債		
長期借入金	308,865	351,373
リース債務	4,169	5,419
固定負債合計	313,034	356,792
負債合計	1,229,550	1,312,994

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	360,193	238,700
資本剰余金		
資本準備金	295,193	173,700
資本剰余金合計	295,193	173,700
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	734,714	601,050
利益剰余金合計	734,714	601,050
株主資本合計	1,390,102	1,013,450
純資産合計	1,390,102	1,013,450
負債純資産合計	2,619,652	2,326,444

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	3,850,260	4,638,550
売上原価	1,321,888	1,630,317
売上総利益	2,528,372	3,008,232
販売費及び一般管理費	2,228,235	2,724,795
営業利益	300,136	283,437
営業外収益		
受取利息	86	99
自販機収入	6,105	7,865
その他	1,219	2,556
営業外収益合計	7,410	10,521
営業外費用		
支払利息	7,757	7,532
その他	507	80
営業外費用合計	8,264	7,612
経常利益	299,282	286,346
特別損失		
固定資産売却損	809	—
固定資産除却損	393	—
店舗閉鎖損失	18,107	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	6,592	—
特別損失合計	25,903	—
税引前四半期純利益	273,378	286,346
法人税、住民税及び事業税	116,596	107,327
法人税等調整額	9,661	21,075
法人税等合計	126,257	128,402
四半期純利益	147,121	157,944

(第3四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
売上高	1,381,502	1,681,328
売上原価	469,813	581,625
売上総利益	911,689	1,099,703
販売費及び一般管理費	753,449	956,079
営業利益	158,240	143,623
営業外収益		
受取利息	12	4
自販機収入	1,873	2,710
その他	7	231
営業外収益合計	1,894	2,946
営業外費用		
支払利息	2,640	2,234
その他	47	48
営業外費用合計	2,688	2,283
経常利益	157,445	144,287
特別損失		
固定資産除却損	361	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	6,592	—
特別損失合計	6,954	—
税引前四半期純利益	150,491	144,287
法人税、住民税及び事業税	49,796	48,477
法人税等調整額	17,344	18,703
法人税等合計	67,140	67,181
四半期純利益	83,351	77,105

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	273,378	286,346
減価償却費	63,913	87,473
のれん償却額	—	257
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,229	△34,344
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,864	△2,365
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△1,170	△1,532
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	6,592	—
受取利息及び受取配当金	△86	△99
支払利息	7,757	7,532
固定資産売却損益(△は益)	809	—
固定資産除却損	393	—
店舗閉鎖損失	1,047	—
賃貸資産の取得による支出	—	△1,794
売上債権の増減額(△は増加)	△19,865	△29,055
たな卸資産の増減額(△は増加)	△97,697	△116,121
仕入債務の増減額(△は減少)	10,718	△2,629
未払金の増減額(△は減少)	△1,391	6,227
その他	27,142	6,112
小計	260,176	206,006
利息及び配当金の受取額	77	97
利息の支払額	△7,666	△7,711
法人税等の支払額	△119,615	△191,410
営業活動によるキャッシュ・フロー	132,971	6,982
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△125,666	△162,916
有形固定資産の売却による収入	150	—
無形固定資産の取得による支出	△2,160	△300
敷金及び保証金の差入による支出	△67,725	△78,079
敷金及び保証金の回収による収入	2,282	4,345
長期前払費用の取得による支出	△14,260	△26,698
事業譲受による支出	—	△24,835
その他の支出	—	△6,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207,380	△294,984
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	95,502	106,000
長期借入れによる収入	240,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△132,284	△163,741
株式の発行による収入	—	242,106
配当金の支払額	△21,340	△24,209
その他	△830	△1,249
財務活動によるキャッシュ・フロー	181,046	258,906
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	106,637	△29,095
現金及び現金同等物の期首残高	255,678	462,898
現金及び現金同等物の四半期末残高	362,316	433,802

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年6月28日付で公募による新株発行の払込み及び平成22年7月8日付で第三者割当による新株発行の払込みを受けました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が121,493千円、資本準備金が121,493千円増加し、当第3四半期累計期間末において資本金が360,193千円、資本準備金が295,193千円となっております。

4. 補足情報

(1) 仕入実績

当第3四半期累計期間の商品別仕入実績は、次のとおりであります。

品目	当第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)		
	仕入高(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
生活雑貨	203,124	11.6	129.4
衣料・服飾雑貨	830,220	47.5	140.1
電化製品	427,955	24.5	103.9
家具	118,506	6.8	106.6
ホビー用品	110,847	6.3	120.1
その他	55,730	3.3	99.5
合計	1,746,384	100.0	122.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第3四半期累計期間の商品別販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	当第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)		
		売上高(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
直営事業	生活雑貨	584,181	12.6	112.6
	衣料・服飾雑貨	2,128,028	45.9	138.8
	電化製品	1,146,223	24.7	106.4
	家具	453,642	9.8	109.7
	ホビー用品	294,810	6.4	109.1
	その他	22,672	0.4	169.8
	小計	4,629,556	99.8	121.0
FC事業		8,993	0.2	38.7
合計		4,638,550	100.0	120.5

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 FC事業は、商品販売、加盟料・指導料・ロイヤリティ等であります。